

## 「脱炭素おおいそ町民会議」 第3回 会議録

## 1. 概要

日時 : 2025年9月28日(日) 13:00~16:30

会場 : 大磯町保健センター 2階研修室

参加市民 : 30名(欠席者:4名)

全体ファシリテーター : 徳田太郎(ユニベルシタスつくば/VOICE and VOTE 代表)

グループファシリテーター : 鈴木優子、石澤志津、川瀬裕子、長谷川優介、石澤直樹、鈴木秀顕

主催者 : 実行委員会委員 : 松浦治美、岡部幸江、オダギリミホ、加藤洋、半田志野、八尋陽子

大磯町 : 磯崎清彦 諸澄周平

神奈川県 : 松田泰弘、稲益司、佐々木敬太

事務局 : 稲田素子 柳下正治 IDEP 職員等

## 2. 第3回会議の目的

- ・ 参加町民が脱炭素アクションの結果を共有する。
- ・ 脱炭素おおいその実現に向けてさらに第4回会議において町民同士の対話を深めていかなければならない課題を明らかにする。
- ・ その際に次回会議において専門家から得たい情報・説明やアドバイスを明らかにする。

## 3. 実施概要

時刻	内容
13:00	オリエンテーション 本日の進行等
13:10	チェックイン
13:15	「脱炭素アクション」の実践結果 報告・説明 事務局
13:30	・対話①のグループへ移動
13:35	インストラクション
13:40	グループ対話① 実践からの学び、課題、特に話し合いたいこと、知りたいこと
14:15	・対話②のグループへ移動 グループ対話①と同様
14:20	グループ対話② グループ対話①と同様
14:55	移動・休憩
15:10	グループ対話①②の全体共有、グループ対話③の分野(住まい・消費・移動・吸収源)選択
15:20	グループ対話③ 脱炭素に向けて解決すべき課題、第4回で特に話し合いたいこと、情報提供で知りたいこと
15:55	移動・休憩
16:05	グループ対話④ 対話③でまとめた項目以外に「脱炭素おおいそ」に向けて話合うこと
16:15	次回にむけてアナウンス
16:20	チェックアウト/アンケート
16:30	閉会

※16:50まで放課後タイム(希望者の歓談時間)

(1) オリエンテーション(ユニベルシタスつくば/VOICE and VOTE 代表 徳田太郎氏)

全体ファシリテーターの徳田氏から、全6回の町民会議の趣旨説明が改めて行われ、第3回会議では、第4回会議の分野別グループ対話で話し合う「脱炭素おおいそ」実現への課題となる項目とその際に専門家に提供してもらいたい情報を明らかにするという目的が全体共有された。

(2) 自己紹介とウォーミングアップ

ホームグループ内で「呼ばれたい名前」、「前回の町民会議から今日までの間の出来事」を伝え、ウォーミングアップを行った。

(3) 脱炭素アクション実践結果の説明 (事務局:一般社団法人環境政策対話研究所 (IDEP) 代表理事 柳下正治、理事 稲田素子)

まず、柳下より、脱炭素アクションの実践から次回のテーマ討議への流れが伝えられた。今回31名の参加者から、脱炭素アクションの実践報告があったことに感謝の意を表した。また、参加者からの報告を集計・整理した結果が、以下3つの資料として全体に共有された。

- ① 実施状況:資料「脱炭素アクションの実施状況」
- ② 実践結果報告のとりまとめ:資料「脱炭素アクションの結果のとりまとめ表」
- ③ 脱炭素アクション4分野ごとの課題:資料「脱炭素アクションの実践結果の課題の整理」

続いて、稲田より、各資料の詳細な説明および補足が行われた。今回はグループ対話を通じ、第4回の町民会議において深掘りする論点を定めることを目指し、この結果を受けて、参加者が必要と感じている内容について専門家から情報提供を受けたり、分野別の課題や取組みをより深く議論していくことが説明された。

(4) インストラクション

全体ファシリテーターの徳田氏から、グループ対話の進め方が説明された。今回は合計4つのグループ対話を実施され、すべてのグループ対話は異なるメンバー構成で実施された。

4つのグループ対話の概要は以下の通りである。

グループ対話1	分野別に脱炭素おおいそ実現に向けた課題を明らかにした。 ・グループメンバーは、その人が実施した脱炭素アクション2つのうち1つが含まれている分野であり、また居住地域が大磯・国府・混成のいずれかとなるよう編成し、事務局で指定した。
グループ対話2	グループ対話1と同様のやり方で、分野別グループ対話を実施した。 ・グループメンバーはグループ対話1と同じ方法で編成し、かつ対話1とは別のメンバーとなるように事務局で指定した。
グループ対話3	グループ対話1、2の結果を4つの分野ごとにまとめ、4つのグループとして第4回に話し合う課題を確定した。 ・実施した脱炭素アクションに関係なく、本人の自由選択とした(本人の希望を尊重しつつ、グループの人数ができるだけ均等になるよう配慮した。)
グループ対話4	ホームグループに移動し、グループ対話③でまとめた項目以外に「脱炭素おおいそ」に向けて話し合うことを確定した。

(5) グループ対話1のグループへ移動

対話1のグループは以下のように編成した。( )内は参加者の居住地域を示している。

グループ	分野(居住地域)
①	住まい(大磯)
②	消費(混成)
③	消費(国府)
④	移動(混成)
⑤	移動(大磯)
⑥	吸収源(国府)

(6) グループ対話1

グループ対話1は、グループメンバーの自己紹介後、以下の流れで進められた。模造紙上には下記の1~4の記入欄が用意されており、各欄に話し合いながら意見を記載した付箋を貼り、記録を残した。

1. 「取組みからの学びのポイント」を共有する

脱炭素アクションからの、最も大きな「学びのポイント」を、黄色の付箋に1つだけ記入。順番に読み上げて共有し、「学び」の欄に貼った。

2. 脱炭素の取組みを進めるために「解決すべきこと(課題)」を考える

1.の学びを踏まえ、「取組みを容易にする/広げるための課題」を赤色の付箋に、1つだけ記入。順番に読み上げて共有した上で、他の課題がないかを話しながら、「解決すべきこと(課題)」の欄に付箋を増やしていった。

3. 次回の会議で「話しあいたいこと」を考える

2.で挙げた課題の中から、特に話しあいたいものはどれかを話し合い、その項目の付箋を「話しあいたいこと」の欄に移した。

4. 次回の情報提供で「知りたいこと」を考える

3.で挙げた課題について話しあうときに、どのような情報(データ・事例など)があるとよいかを話し合い、その項目を青色の付箋に記入し、模造紙の「知りたいこと」の欄に貼った。

(7) グループ対話2のグループに移動

対話1のグループ編成は以下の通り。( )内は参加者の居住地域を指す。

グループ	分野(居住地域)
①	住まい(国府)
②	住まい(混成)
③	消費(大磯)
④	消費(混成)
⑤	移動(国府)
⑥	吸収源(大磯)

(8) グループ対話2

上記のグループ編成で、グループ対話1と同様の流れで対話を行った。

(9) 休憩

休憩の時間中に、事務局は全体共有に向けて模造紙の整理などの作業を行った。

(10) グループ対話1、2の全体共有・テーマ選択

全体共有では、グループ対話1、2で出された意見のまとめと確認を行った。事務局でグループ対話1、2で出された意見を、4つの分野(①住まい、②消費、③移動、④吸収源)ごとに、模造紙に取りまとめ、参加者はその模造紙が置かれたテーブルを自由に見て回った。

参加者は模造紙の内容を見たうえで、グループ対話3で自分が参加したい分野を選択した。ただし、実際に脱炭素アクションで実践したアクションが含まれる分野のうち、まだグループ対話に参加していない分野が残っている参加者については、優先的にその分野を選択してもらうよう依頼した。

(11) グループ対話3

各参加者の参加するグループで、グループメンバーの名前を確認した後、以下の1~3の流れでグループ対話が行われた。

1. 脱炭素の取組みを進めるために「解決すべきこと(課題)」を確認する

模造紙の「解決すべきこと」、「話しあいたいこと」の付箋を確認し、重要な抜け落ちがないかを確認した。

2. 第4回会議で「特にこだわって話しあいたいこと」を明確にする

「話しあいたいこと」の欄の付箋を確認した上で、特に重要だと思うものを3~5程度選び、付箋をまとめて枠線で囲んだ。

3. 第4回会議の「専門家からの情報提供で知りたいこと」を明確にする

4の欄の「知りたいこと」の付箋を確認した上で、特に必要だと思うものを2~3程度選び、付箋をまとめて枠線で囲んだ。

(12) 移動・休憩

開始時のホームグループへ移動した。

(13) グループ対話4

グループ対話4では、グループ対話3でまとめた項目以外で、「脱炭素おおいそ」の実現に向けて話しあうべき項目が他に残されていないか、チェックが行われた。具体的には、①第1回会議において町民から脱炭素アクションに追加すべきと提案された項目、②脱炭素アクションを20項目に絞ったとき対象外となった5項目等について確認し、もし次回の会議でどうしても取り上げ来項目があった場合は、新規の追加項目と併せてグループごとに記録した。

(14) 次回にむけてアナウンス

第4回会議の日程は、10月26日(日)10:00~16:15、大磯町保健センター研修室で開催されることが告知された。第4回は、午前・午後開催。

(15) チェックアウト

ホームグループで、当日の感想の共有を行った。

(16) アンケートの案内

第3回事後アンケートの案内があり、参加者は、脱炭素アクションを実践した感想、今回の会議を終えた感想等、また、第4回会議に参加したいグループ対話の分野を、第3希望まで記入し、提出した。